

## 沖縄県に導入されているゴレンシ優良系統の特性(第3報)

○松村まさと・松田昇・島袋清香・伊地良太郎・玉城照夫・島袋正明・大野貴裕<sup>1)</sup>  
(県農研センター名護支所, <sup>1)</sup>沖縄ベトナム交流協会)

沖縄県の熱帯果樹は、マンゴーを中心に栽培されており、県内外市場における需要増加や県内観光客の増加等により、多種多様な熱帯果樹の供給が望まれている。しかし、唯一の生産県である沖縄県からの供給が充分でないため、輸入に頼っているのが現状である。

この状況の中、ゴレンシは庭先での栽培が中心であったが、マンゴー等の生産が市場及び消費者に定着する中で、次期の主要品目として栽培が開始されている。しかし、栽培されている品種は、従来の在来系や農家独自に収集した品種が主であり、低糖や果肉歩合が少ない等の問題がある。

そこで第1, 2報において県内で栽培されている系統、海外から導入された系統の果実品質調査を行い、沖縄県の環境条件に適した優良系統選抜状況を報告した。今回は新たに海外から導入した系統を加え調査を行ったので第3報として報告する。

### 材料及び方法

- 1) 供試品種：県内から収集した3系統(A,C,N)  
海外から導入した8系統(F~M)

- 2) 試験方法

沖縄県農業研究センター名護支所内において80%ポット栽培とし、仕立ては主幹形とした。受粉にはセイヨウミツバチを使用し、果実は摘果により1果房につき1果とした。その他管理については沖縄県果樹栽培要領に準じた。収穫は稜辺部分の縁に緑色が2割残った時点でを行い、収穫された果実について果実重、果形(縦径、横径、稜辺厚)、糖度、酸度、果皮色、奇形果数、果皮傷害を調査した。奇形果については果梗部と果頂部を結ぶ線が真っ直ぐで、稜辺に歪みがない果実を変形程度0、線がわずかに曲がり、稜辺に歪みがない果実を変形程度1、線が曲がり、稜辺に歪みがある果実を変形程度2、著しく変形している果実を変形程度3として調査をした。

### 結果及び考察

- 1) 1樹当たりの収穫量は系統F,G,H,Iで15kg以上と高く、次いで系統A,Jが10kg以上であった。初着果の系統K,L,M,Nのうち系統K,Lは1樹当たり収穫量が少く、それぞれ3.4kg、5.4kgであった(表1)。
- 2) 果実重は系統F,K,Lが200g以上となり、系統G,M,Nで150g以上あった。系統A,C,Hは100g程度と小さかった(表1)。
- 3) 糖度は系統A,C,F,G,L,Nで10度以上と高く、次いで系統H,I,K,Mが9度以上であり、系統Jは7.7度と低い値であった(表2)。
- 4) 果皮色は系統H,Nでa値,b値ともに他系統より低く、黄白色傾向であった(表2)。
- 5) 果実の変形程度について、変形程度0は系統F,G,H,Jで60%以上と他の系統より高く、系統K,L,M,Nで7.9~17.1%と低かった(表3)。
- 6) 変形程度の大きい、程度2と3を合計した奇形果率は系統Lで46.3%と最も高かった。他の系統は奇形果率10%以下であった(表3)。
- 7) 果皮障害の発生は系統F,I,K,Lで発生はみられず、系統G,Jで軽微な発生がみられた。系統A,M,Nの発生率は12.5~18.1%と高かった(表3)。

以上の結果から、収量が多く、大玉、高糖度、果形において商品化率の高い系統として系統F,G,Iが挙げられる。

表1. 系統別果実形質

系統	収量 (kg/樹)	収穫果数 (個/樹)	果実重 (g)	果径(mm)		
				縦径	横径	稜辺厚
A	13.3	92	114.2±54.6	101.8±16.4	61.4±10.4	19.0±2.4
C	9.8	91	107.1±42.1	100.6±16.1	54.8±8.4	17.5±3.4
F	16.8	84	200.5±74.0	114.4±16.4	69.4±11.0	20.4±3.2
G	16.9	107	157.5±60.5	107.8±18.9	56.3±8.0	19.4±2.23
H	16.7	155	107.4±29.7	101.5±12.2	51.4±6.8	17.6±2.04
I	15.4	109	141.7±55.2	125.2±19.7	58.5±8.9	17.3±2.1
J	13.0	96	135.8±58.5	111.5±16.3	57.5±8.5	19.9±2.1
K	3.4	15	215.8±88.8	156.0±28.5	64.5±13.5	17.9±1.7
L	5.4	22	240.3±94.4	130.1±32.6	71.2±13.8	21.1±2.8
M	9.7	62	158.5±76.3	112.9±27.4	62.8±13.2	19.4±2.0
N	8.1	42	191.3±85.3	111.9±26.9	71.7±16.9	20.7±2.5

※平均値±標準偏差

表2. 系統別果実品質

系統	調査数	糖度 (%)	酸度 (%)	果皮色		
				L値	a値	b値
A	189	11.8±1.6	0.70±0.11	49.7	-1.57	19.8
C	162	13.1±2.3	0.76±0.14	48.8	-0.96	20.1
F	174	10.0±1.3	0.48±0.11	48.9	-1.64	22.8
G	179	11.9±1.4	0.57±0.10	51.4	-2.36	21.5
H	211	9.2±1.2	0.56±0.08	50.8	-1.94	16.6
I	245	9.2±1.6	0.51±0.07	50.0	-1.09	21.0
J	127	7.7±1.3	0.49±0.08	46.3	-0.33	17.8
K	45	9.8±0.9	0.62±0.13	49.8	-0.74	21.3
L	65	10.2±1.8	0.80±0.24	49.3	-1.10	20.4
M	185	9.8±1.4	0.79±0.22	52.6	-1.45	22.4
N	127	10.5±1.9	0.50±0.12	51.4	-2.45	17.3

※平均値±標準偏差

表3. 系統別の果形揃いと果皮障害果の発生

系統	調査 果数	程度別変形果率(%)				奇形 果率(%)	果皮 障害率 (%)
		0	1	2	3		
A	367	48.2	48.8	2.2	0.8	3.0	12.5
C	365	56.4	42.7	0.5	0.3	0.8	2.4
F	334	62.3	34.7	3.0	0.0	3.0	0.0
G	431	60.1	38.1	1.9	0.0	1.9	0.2
H	623	62.3	35.8	1.9	0.0	1.9	1.3
I	437	46.9	47.8	5.3	0.0	5.3	0.0
J	383	63.2	36.3	0.5	0.0	0.5	0.8
K	46	15.2	78.3	4.3	2.2	6.5	0.0
L	67	10.4	43.3	38.8	7.5	46.3	0.0
M	187	17.1	74.9	7.0	1.1	8.0	13.9
N	127	7.9	82.7	7.1	2.4	9.4	18.1

※奇形果率:果実変形程度2と3の合計